

立教185年
活動方針

末代の道に向い、素直にひながたの道をたどろう
 「おやさまのひながたとは、
 ようばくを育て増やすこと」
 ・初席者 66名 ・中席者280名

◇10月26日 本部秋季大祭◇

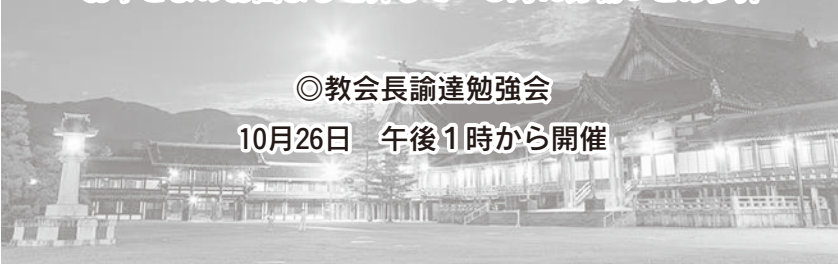
《布教部主催》

◎10月26日 朝づとめ前 回廊ひのきしん 5時15分詰所出発

おやさまのお出ましを拝して 6時15分朝づとめ参拝

◎教会長諭達勉強会

10月26日 午後1時から開催



大教会のHP がご覧になれます！

月報には掲載されない写真もいっぱいです！

ぜひ一度ご覧下さい♪

網走月報

発行所
 天理教網走大教会
 布教部出版広報掛
 〒093-0073
 網走市北3条西6丁目
 TEL 0152-43-2227
 FAX 0152-44-2227

大教会九月月次祭

大教会9月の月次祭は、12
 日午前9時30分から大教会長
 祭主のもと、執行された。

大教会長は祭文で、親神様
 の御守護に御礼申し上げた後、
 「先月十三日には、網走学生
 会の発足の御守護を賜りまし
 たこと厚く御礼申し上げます。
 今後共、網走に繋がる学生層
 が、おやさまのひながたを求
 め活動が活発になりますよう
 御守護の程お願い申し上げます

神殿講話



神殿講話抜粋

齋藤芳徳 准役員

す。私共教会長をはじめよう
 ばく一同は、教祖百四十年祭
 に伴い十月の御本部大祭に御
 発布頂く諭達を頂戴するにあ
 たり、しっかりと心構えが出
 来るよう、今一度真柱の理の
 重みを思案させて頂き、年祭
 に向けての心の準備を進めさ
 せて頂く所存でございます」
 と奏上した。

が、私自身の教祖年祭への向
 かい方、何を心に置き、何を
 すべきかという事をお話しし
 たいと存じます。
 私達お道を歩むお互いでは
 ありますが、なぜ自分はお道
 の信仰をしているのか、元一
 日の御恩は何だったのか、そ
 こから思い返すならば、我が
 家と言えば初代会長齋藤ヨシ
 様が、齋藤家のいんねんに気
 付き、それを知り、いんねん
 を自覚しながら、おたすけを
 もっていんねん果たしの道を選
 び、その身上をお借りして
 いる事へのご恩報じの道を選
 んで下さった事が入信の元一
 日であります。おさしづに

只今の時期は、来年の教祖
 140年祭を迎えるにあたり、表
 統領、内統領両先生からのき
 め細やかなお話を頂くなど、
 年祭へ向けてのそれぞれの心
 の置き所をしっかりと固める
 時でもあります。又、来月に

は真柱様より諭達が発布され
 より一層年祭活動へと向かう
 緊張感で満たされる時でもあ
 ります。ただこれまでの年祭
 のスタートとの違いは、やは
 りここ数年にわたるコロナの
 影響ではないでしょうか。我
 が身を用いた動き、または積
 極的な声がけなど、人との触
 れ合いそのものが遠慮をする
 ようなご時世であります。年
 祭活動へと向かい、その中、
 自身の行動にも気を付けなけ
 ればならない時でもあります

「世界にもどんないんねん
 もある。善きいんねんもある
 ば、悪いいんねんもある。」(明
 治28・7・22)
 と教えて頂くように、私自身
 も本来であれば、前生から私
 の魂が積んできた、様々な時
 いた種の課題に左右されなけ
 ればならない中を、今日初代
 が繋げて下さった信仰のお陰
 をもって通らなければならな
 い険しい道を、良きに導かれ
 る親心のお陰で、棚上げされ、
 毎日をお守り頂きお連れ通り

武士分教会所属・村井実 誠綱分教会所属・菊池ゆかこ ○修養科志願の動機、また、修養科生活はどうでしたか？ (村井) 父親の出直しをきっかけに、札幌での仕事を辞め、教会へ戻りました。当時は焦りと今後どうしたらいいのかということと頭がいっぱいでしたが、まずは修養科に行かせてもらおうと思ひ志願させて頂きました。



修養科を終えて

の気持ちが入り込んできて『是非、恩返しさせてもらいたい、生き方を変えたい』と思ひ志願しました。 ○修養科を修了して (村井) 不安も色々ありましたが、神様のお話を聞かせて頂くうちに親神様、教祖からのお導きだと思えるようになりまし。教理のことは少ししかまだ学べていませんが人の助かりを願う大切さ、誠実の心を持ち心一筋に通らせてもらう大切さ、神様にもたれる素直な心などたくさん学ばせて頂きました。今後も色々な節や身上・事情が起きると思ひますが自分に何かを知らせてくれると思ひながら、日々を喜び勇んで通らせて頂きたいと思ひます。

(菊池) 3ヶ月を通して、『神様は、皆んなを助けて欲しい』という思ひが、より深く感じられるようになりまし。修養科では人に喜んで頂くという事の素晴らしさが大変勉強になりました。今後、実際に行動して、この教えの素晴らしさが多くの人に伝わってほしいと思ひました。

Table with 2 columns: 初席, 中席, 末席. Total 42 seats.



8月14日、3年ぶりに、こかん様に続く会を開催させて頂いた。支部長様より、こかん様のお話を聞かせて頂き、その後昼食を頂いて解散した。 (参加者3名・担当者2名)

こかん様に続く会

第30回 女子青年大会 立教185年/2022年 11月27日(日)午前10時 場所 本部中庭 大会テーマ 教えを学び 教祖にお喜びいただける日々を ~感謝の心をおちばにつなごう~

《日程》 11/26 本部月次祭 参拝 別席(午後席) 本部ひのきしん(午後4時30分~5時 西境内地南側) タづとめ参拝 親睦会 11/27 第30回女子青年大会 午前10時開会 本部中庭 ※コロナの状況により内容が変更になる場合がございます 対象年齢 16歳から29歳までの女性(旅費の半額助成します) 詳しくは大会までお問合せ下さい。

◎出直 ▼直轄教人・田中純枝様は9月28日出直された。享年64歳。葬儀は9月29日みたままつしが、翌30日告別式が大会にて大会会長齋主のもと執行された。 ◎年祭 ▼直轄所属・玉置淑子の霊様50日祭・合祀祭が9月4日、網走市の自宅にて瀬川定自・直轄世話人祭主のもと執行された。

全教一斉にをいがけデー 9月28日から30日まで、全教一斉にをいがけデーが行われた。各支部での活動であったが、多くの方がにをいがけに励ませて頂き、網走支部では、大会に集合し、10時から12時まで、神名流しと路傍講演をさせて頂いた。

▼誠綱所属・菅原セツの霊様10年祭が9月3日、釧路市の自宅にて菅原明宏・誠綱分教会会長祭主のもと執行された。

下さっている事を改めて確認することが、日々の感謝の根底に置かなければならない事と思わせて頂きます。みかぐらうたの二下り目七ツに「なんじぶをすくひあぐれば」とありますが、まさに親神様にすくい上げられている現在ののだと思うのです。 さて、これからはすくい上げられ通らせて頂く現在においても、忘れてはならない事柄を身近な人から教えられた事を話させて頂きます。

先月12日徳道の役員であり、私の叔父でもあるとても大切な方が出直しました。叔父は徳道設立から母である初代に任せ、二代である兄に任せとして三代である私の最も近いところで支え続けて下さいました。お道の上に尽くし運びそして、神一条の信仰信念を貫いた方でありました。實東の二代会長森齊先生よりお道の教えを深く学び、又、自らも求めて教理を深めた方でもあります。私も教会運営の上に絶えず相談し至らぬ私を今まで導いて下さいました。正に私にとっての父に代わる親であり一番大恩のある方

あります。神様には好かれていたのだという事が出直しの時もありました。その朝教会に電話があり、もう体がたないかもしれないから、ちょっと来てくれとの事にて、早速伺うと、息も絶え絶えの中、一生懸命に何かを伝えようと、声にならない中を最後まで教会の事を心配して下さいました。そんな姿を見て、私も苦しさを静めて頂きたくおさづけを取り次ぎ、話したいことがたくさんあるのはわかるが今は心静めていて下さいと話し、本人も分かっていたと眠りについたのです。そしてそのまま、その三時間後寝ながら自然と息を引き取ったのであります。すばらしい出直し方であったと思ひます。そのような尊敬すべき叔父でありました。元来とても短気な人柄でしたが、元来とても短気な人柄でありました。やはり齋藤家のいんねんと申しますか、家庭内が治まらないという無念な姿のまま出直していきま

ました。理由は様々あると思ひますが、叔父の頑固さも大きな理由ではなかったと思ひます。お道に素直に通られていた方ですので、それに反する言葉や行いが許せず、大きな声で叱責するような事が在ったようです。外ではお道の人間らしく、色んな人を幸せへと導いていました。内々ではガミガミと内顔の悪い面も持ち合わせて居たようです。そのような事から、お道の信仰は叔父一人になっていきました。

実は他人事のように話してはいますが、私もまた同じような性分の持ち主であります。齋藤家は一家断絶のいんねんが8人いたのですが、齋藤の姓を名乗るのは、私の代では私と叔父の息子だけ、私の子供の代に至っては教会である我が家だけになっていきます。親が子となり、子が親となり恩の果し合いをするのだとお聞かせ頂く事が途絶えてしまうことは残念なことに他ならないことでありましよう。そんな一家断絶のいんねんを叔父の姿、又は自分の周りの人と

の繋がりを切り捨てるような性分を顧みたま時、成る程あり得る事なのだなと思ひます。今、教祖140年祭へと向かう心の準備の中、私はまず大切なことは、今の私たちが親神様・教祖にすくい上げられ守られて時間を過ごしている事の有難さを持ち続けなければならぬと考へます。そして、親々が自ら歩まれた、良い事も悪い事も、後に続く者に見せて下さった手本があればこそ、私たちに、繰り返しの悪しきいんねんを積まない道標である事に有難さを感じる事が、親への恩返しにもなると思ひます。

最近ではあまりいんねんの自覚の話が教内の中でも聞かなくなっているようです。守られ、毎日何事もなく過ぎていく今の時間が当たり前のようになりますと、親神様・教祖へ対しての御恩が薄くなり、お道を受け継がなくなりそして、お道を離れていくことになるのではないのでしょうか。今の若い世代は、なぜお道を歩むのか、どうして信仰をするのかを明確に言葉にして伝えないと伝わらない時代です。

其々のいんねんという魂に与えられた課題にしっかりと向き合い果たして行く姿が大切なことだと考へます。 私達ようぼくは、どんな中にも十全の御守護を頂く感謝と喜びと、歩まねばならぬいんねんを棚上げされ歩みやすい環境をお与え下さることにしっかりと気づかせて頂くことが、親神様・教祖に繋がります。おふでさきに

いかほどにせつない事がありてもな をやがふんばるし ようちしていよ(十五一八) いかほどにさねんつもりであるとしても ふんばりきりてはたらきをする (十五一七) と私たちの心の入れ替えを促され、そして必ずすすけて下さるとの親心をお示し下さっています。

◎神実様鎮座祭

▼直轄所属・瀬川安恵宅では東京都世田谷区の自宅にて神実様をお祀りすることとなり9月15日・瀬川陽一・直轄世話人祭主のもと神実様が祀り込まれた。講名は「網恵(あみめぐみ)講」

◎神実様鎮座祭

▼誠綱所属・菅原尚喜さんは北海道石狩市にて神実様をお祀りすることとなり10月1日・菅原明宏・誠綱分教会長祭主のもと神実様が祀り込まれた。集談所名は「誠華(せいはいな)集談所」

9月人のご守護

○中席者 (1名)

徳道 齋藤 明日香

○をびや許し願 (1名)

育英会寄付者

垣内 光代様 (夫一年祭・納骨)

菅原 尚喜様 (志)

宗雅分教会 (志)

大教会9月の動き

1日 役員会会議。みそか

4日 縦の伝道日

7日 直轄世話人会。お話し会

8日 神殿、回廊すす払い

9日 網走支部例会会場

10日 役員会会議

11日 布教部例会

12日 月次祭。連絡会。教

13日 会長夫妻練り合い

17日 支部婦人会例会会場

18日 縦の伝道日

19日 会長、直轄信者まわ

22日 会長、おぢばがえり

23日 会長、本部神殿奉仕

25日 議長、本部災救隊会

26日 本部月次祭遙拝。会

27日 結城和広役員、本部

28日 神殿奉仕つとめる

29日 会長、かなめ会出席

27日 細木善信役員、本部

28日 神殿奉仕つとめる

29日 全教一斉にをいがけ

デー(30日まで)

葬儀斎主つとめる

(30日まで)

秋季霊祭

秋季霊祭は9月13日午前10時より、神殿の儀が行われ、てをどり終了後、祖霊殿の儀が執行された。このたび、直

轄・大家サク様、大家裕司様、垣内堯男様、垣内聡様、瀬川正巳様、瀬川晴也様、瀬川光子様、瀬川隆様、瀬川加壽子様、瀬川百合子様、瀬川美津子様、玉置淑子様、米田勝次郎様、米田イツ様、米田英子様、武士・村井淳様、村井保彦様の霊様が新たに合祀された。

Table with columns for location (地方), name, and role (前/後半). Includes names like 菅原明宏, 斎藤明日香, etc.

立教185(令和4)年人のご守護成果表 (9月末現在). Table with columns for church name, membership, and service results.

9月 月次祭 9/12(月). Table with columns for service details, participants, and roles.